

【広告媒体情報】

媒体名	ウェブサイト	国内向け雑誌・新聞	
	1. 日経メディカル Online	2. 経団連タイムス	3. 学術の動向
URL	https://www.nikkeibp.co.jp/ad/atcl/magazine/NM/	http://www.keidanren.or.jp/journal/times/	http://jssf86.org/works1.html
言語	日本語		
発行部数等	月間ページビュー数 19,599,154 月間ユニークユーザー数 7,480,333 (2022年12月実績)	50,000部	2,050部
掲載期間・発行頻度	1 週間	週刊	季刊
掲載ページ	第 1 レクタングル <参照> https://www.nikkeibp.co.jp/ad/atcl/netmedia/NMO/230100_so_NMO.pdf	1面／中面全2段	裏表紙 and/or 中面1ページ
カラー	4C	4C	裏表紙：4C 中面：1C
サイズ (天地mm×左右mm)	左右300×天地250ピクセル/150KB以内	天地72mm×左右246mm	裏表紙（表4）：左右169 mm×天地240 mm 頁中：左右188 mm×天地263 mm
新デザインでの 初回出稿時期 (予定)	7月、10月、翌年1月頃	7月～翌年2月頃	4月、7月、10月、翌年1月 ※4月は昨年度デザインで出稿、 7月より新デザイン予定
出稿予定回数	3回	6回	4回
媒体概要	医師や薬剤師を中心とした医療従事者に対して、日常の臨床や研究、医療行政やキャリアアップに役立つ最新情報を提供している会員制サイト。 特に、医師に対しては厳格な認証システムを導入し、医師限定のコンテンツも提供。	経団連の機関紙。経済界の情報源として、調査研究成果、各種提言、経営・人事管理の最新情報などを取り上げている。	科学者コミュニティと社会をつなぐ総合学術誌。日本と世界の学術の動向、日本学術会議の状況、内外で開催される学術講演、シンポジウムの情報を掲載。
初回入稿データ締切日 (予定)	6月下旬	6月下旬	5月末

【東京都及び財団の国際会議誘致・開催関連支援やサポート概要コピー案および広告主情報】

■ 支援・サポート概要

< 誘致支援 >

事前準備

- 会場ご提案
- 会場使用計画、見積作成

立候補～決定

- 誘致活動費の全額助成*（200万円～800万円¹）
- 立候補書類の作成
- 都知事の支援レター手配
- 海外主催者現地視察／ロビー活動サポート

< 開催支援 >

開催準備

- 前回大会でのプロモーション支援

開催当日～開催後

- 開催経費の全額支援*（500万円～1億5,000万円²）
- 都内観光ツアーや日本文化体験等提供*
- その他ツール等貸出・提供

- ・ 各種財政支援、ツアー・体験等提供は一定規模の延泊数（海外参加者数×会期）の国際会議が助成対象となり、助成上限額は延泊数により決定します。開催地決定前に申請及び登録が必要です。詳細はお問い合わせください。

¹ 対象経費：広告宣伝費・渡航費等

² 対象経費：会場借上費・機材費・主催者が負担する海外講演者等の招聘経費・SDGs達成に向けた取組に要する経費等。ハイブリッド型形式にて開催する国際会議については、上記上限額とは別途、最大600万円を上限に、会議の一部オンライン化に要する経費等を助成。

*参考

誘致支援サービス：

https://businesseventstokyo.org/ja/preparation_support/bidsupport_subsidy.html

開催支援サービス：

https://businesseventstokyo.org/ja/preparation_support/preparation_subsidy.html

■ 広告主情報

- ・ 住所 〒162-0801 東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル5階
- ・ 電話番号 03-5579-2684
- ・ 代表メールアドレス businessevents@tcvb.or.jp
- ・ Business Events TokyoウェブサイトURL: www.businesseventstokyo.org

参考：過去の広告イメージ及びキャッチフレーズ

2019	2020	2021	2022
●誌面広告   東京での国際会議は 東京観光財団にお任せください	●誌面広告   東京のエネルギーが もたらす、 新たなイノベーション	●誌面広告   ビジネスイベントの未来へ	●誌面広告   未来への一歩が、東京から始まる。
東京での国際会議は 東京観光財団に お任せください	東京のエネルギーが もたらす、 新たなイノベーション	ビジネスイベントの未来へ	未来への一歩が、東京から始まる。